

## 岐阜県立飛驒神岡高等学校

学校長 谷脇 浩彦

学校住所 岐阜県飛驒市神岡町小萱 2138-2 電話 0578-82-1147

- 1 会議名 岐阜県立飛驒神岡高等学校学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和2年9月4日(金) 13:00 ~ 15:00
- 3 皆済場所 開催場所 岐阜県立飛驒神岡高等学校 ゼミナール室
- 4 参加者
- |        |        |  |
|--------|--------|--|
| 委員長    | 川上 佳洋  | NPO 法人宇宙まるごと創生塾<br>飛驒アカデミー代表           |
| 副会長    | 植田 要助  | 神岡商工会議所専務理事                            |
|        | 田中 智枝  | 田中料理教室                                 |
|        | 井上 哲也  | 育友会会長 (欠席)                             |
|        | 島田 紀子  | 前育友会会長                                 |
|        | 下田 章   | 有限会社カワデン取締役 (欠席)                       |
|        | 田口 由加子 | NPO 法人神岡・まちづくりネットワーク<br>レールマウンテンバイク事務局 |
|        | 山田 ゆかり | 総合型地域スポーツクラブ<br>一般財団法人 飛驒シューレ (欠席)     |
| オブザーバー | 布俣 正也  | 岐阜県議会議員                                |
|        | 都竹 淳也  | 飛驒市長                                   |
| 学校側    | 谷脇 浩彦  | 校長                                     |
|        | 垣下 大吾  | 教頭                                     |
|        | 田屋 忠司  | 事務長                                    |
|        | 松本 正人  | 教務主任                                   |
|        | 有永 克己  | 生徒指導主事                                 |
|        | 楯 幸司   | 進路指導主事                                 |
|        | 中村 英樹  | 特別活動主任                                 |

### 5 会議の概要 (協議事項)

#### (1) 挨拶

校長 谷脇 浩彦  
会長 川上 佳洋 様  
オブザーバー 都竹 淳也 様

#### (2) 本校における新型コロナウイルス感染症予防対策について

(3) 協議事項

- ①入学動機調査について
- ②学校評価アンケートについて
- ③地域連携による活力ある学校づくり推進事業について
- ④ICTの活用による遠隔教育実証研究事業について
- ⑤各担当より
- ⑥その他

(4) 協議・意見交換

**入学動機調査、学校評価アンケート、地域連携による活力ある学校づくりについて**

- 意見1 入学動機調査で「本校と迷った学校がない」という回答が多いのは、中学生一日体験入学やオープンキャンパスが功を奏していると思います。また、他校と迷った生徒が少ないことは、本校に来たいと思う生徒が多かったということであり、非常に良いと思います。
- 意見2 生徒アンケートで、昨年と比べて生徒会活動の活発さについての評価が低いのはなぜか？
- 回答 新型コロナウイルス感染防止対策により、ほとんどの行事が開催できていないからではないかと思います。
- 意見3 私が講師を務めたオンライン特別授業に参加してくれた生徒たちは、よく考え、積極的に発言してくれました。生徒からは専門的な質問もあり、非常に良かったです。オンラインという形に限らず、今後も継続していきたいと思いました。
- 意見4 飛騨シューレが開催するインクルーシブスポーツ学童アシスタント事業への本校生徒の関わりを詳しく聞かせてほしい。
- 回答 「総合型スポーツクラブ」である飛騨シューレが、スポーツ庁の認定を受け、地域の小学生までを対象としたスポーツ振興事業を行っています。その一環として、本校生徒に協力の依頼があり、現在6名の生徒が参加予定です。

**遠隔教育実証研究事業について**

- 意見5 テーマが、飛騨地域における観光産業への新型コロナウイルス感染症の影響と打開策であり、生徒たちが問題解決手法を学びながら研究すると聞き、とても魅力的な取組だと思いました。
- 意見6 身近にある様々な問題を自分たちの問題と捉え、課題を整理しながら解決策を導く手法を模索する活動は素晴らしく、今後も継続してほしいと思います。実践する過程で様々な問題や壁にぶつかるとは思いますが、本当の力はそういった時に身に付くものだと感じています。

**各担当より**

- 意見7 コロナ禍の大変な状況の中で運動系部活動をはじめ、文化系部活動も非常によく頑張っていると思います。

**その他**

- 意見8 主権者教育として、神岡町時代の議場を使用した「高校生議会」を開催してはどうか。事前学習の後、高校生が一般質問を行い、行政側が答弁をしたり、予算審議などを行っても面白く、最高の主権者教育になるのではないかと思います。来年度すぐにできることではないと思うが、ぜひ検討してほしいと思います。
- 意見9 神岡町づくりアンケートに高校生も協力してほしい。そして、アンケート結果を教材とするなど、神岡町のことに関心を持ってほしい。
- 回答 先日依頼を受け、神岡町在住の生徒には協力依頼をしました。また、昨年の文化祭で実施した「お出かけ市議会」でも、生徒たちは積極的に意見を述べており、地域に関心を持っていることを感じました。

意見 10 コロナ渦の未知の状況の中で、教職員・生徒・保護者共によく頑張っていると思います。授業参観をした際に、教師・生徒がコロナ対策で制限がある中で、うまくコミュニケーションを取れるよう努力していることが感じられました。これからもいろいろな問題が生じるかもしれませんが、学校運営協議会委員と教員が思いを一つにして、学校経営に努めてほしいと思います。

## 6 会議のまとめ

新型コロナウイルス感染防止対策をはじめ、現在の学校教育は日々試行錯誤の状況ではありますが、主役である子どもたちに、できる限りの教育の場を提供し、「ピンチはチャンス」の思いで、小規模校である本校だからできる教育を進めていくとともに、本日伺った貴重な御意見を真摯に受け止め、魅力ある学校づくりを進めていきたいと思ひます。